

# 在校生が卒業生を取材！

松江市立病院

兼折 歩実さん

(2023年度卒・松江商業高校出身)

看護学科2年

原 一花さん

皆美が丘女子高校出身

看護学科2年

石原 瑠華さん

平田高校出身



就職先を決めたきっかけと、働いて実感していることを教えてください。

就職先は在学中に実習した病院の一つです。3年生の実習で訪問したとき、小児科で看護師さんが子どもたちに向き合う姿に憧れを抱き「ここで働きたい!」と思いました。今は三つの診療科の患者さんがいる混合病棟に配属されています。診療科ごとに覚えることが違い、毎日忙しいですが、幅広く学びが得られ成長できる環境だと感じています。



カリキュラムがギュッと詰まった3年間、どう感じましたか？

3年間ずっと勉強していました(笑)。でも、放課後に友達とカフェやファミレスで勉強するのが楽しかったですよ！甘いものを食べて休憩したり、カラオケに行ったりしてリフレッシュも。国家試験前は学校に残って内容を確認し合い、就活の相談もしました。同級生のほとんどが県内で就職し、今でもよく会います。大切な仲間ができるのはこの学校の素敵なところの一つですね！



どのようにテストや国家試験に取り組んでいましたか？

実習前に配属される診療科について調べ、実習中は毎日レポートを作成。実習後は振り返りをして、学校で学んだ知識に実際の経験を肉付けしていきました。それがそのままテスト勉強にも役立ったと思います。忙しい中でも一つ一つをきちんとこなすことが結果になるというイメージ。全てが国家試験合格への道だと思って取り組むといいと思いますよ！



実際に看護師になってみて、3年制で良かったと思うことは？

大学の看護科などで4年間かけてこなす内容を、この学校は3年間に凝縮させています。そのため、授業や実習で得た知識・経験が新鮮に残っているうちに社会に出られます。1学年の最初のころに習ったことや先生から聞いたアドバイスも、すぐに頭の中から取り出して実践できるんですよ。3年制ならではのメリットだと思います。



## 1学年から始まる看護学実習で感じたことは？

慢性期と急性期どちらの病院でも実習をし、先輩看護師の姿を見ていく中で、自分の進みたい方向が決まっていきました。



実習先について、事前に「地元の病院で学びたい」「通いやすい距離の地域がいい」など希望を聞いてもらえるので安心感がありました。



先生の存在は心強いですよね。私はある実習で患者さんに感情移入しすぎてすごくつらくなってしまっで…。先生が親身になって話を聞いてくれたおかげで乗り越えることができました。

私も地元の総合病院で実習できました。先生が実習先に来てくれるのがありがたかったです。悩んだときや困ったときはすぐに相談できました！



## これから入学する人へ

1学年から病院での実習があり、その準備やレポート・テスト・国家試験など、取り組むことがたくさんあるのが看護学科。でも、先生方が支えてくれ、友達と励まし合える環境なので、前向きに乗り越えられました。経験の一つ一つが自分の力になり、現場で役に立っていると実感しています。充実した3年間の先には明るい未来が待っていますよ！

